

知事コメント

令和3年3月8日(月)

沖縄県独自の緊急事態宣言を終了し、再発警戒段階に移行して1週間が経過しました。

緊急事態宣言の終了は、決して収束や安全であることを意味することではありません。現在は、営業時間の短縮や外出自粛を要請するような緊急事態の段階から、流行の再拡大を防ぎ、第2段階までの引き下げを目標に警戒感と対策を継続するという段階です。

1都3県を対象に発令されていた国の緊急事態宣言期間の延長が発表され、全国的には流行状況の下げ止まりの傾向が見られます。そして、各地で変異株が発見されるなど、引き続き警戒が必要な状況が続いております。

県内における新規感染者数は、宣言期間と比べて少なくなっているものの、依然として医療機関や福祉施設、飲食店などにおいてクラスターが発生しています。さらに、宣言終了後1週間の新規感染者数についても、じわりじわりと増加し続けております。1都3県と並び、今日現在は、全国ワースト4位の流行地域となっております。

今後、帰省や引っ越しに伴い、県境をまたいで移動する人も多くなってまいります。

人の移動に伴って感染も広がります。旅行の2週間前から感染リスクの高い場面への参加を控えることや、ご自身の健康観察の徹底をお願いします。そして、事前にPCR検査を受検してください。

特に、離島で感染が広がると、離島の医療体制は一気にひっ迫します。離島への帰省や訪問を検討されている方はご注意ください。必要に応じ、市中でのPCR検査や那覇空港での「NAPP」もご利用いただきたいと思います。

また、時節柄、送別会や謝恩会等、感染リスクが高まる機会が増えてまいります。大切なことは、皆が新型コロナウイルスの特性を理解し、感染リスクを下げるよう、イベントや日常生活において工夫と警戒を継続することが重要です。

つまり、以前お伝えした、3つの感染パターン、まず「接触感染」による感染を防ぐためには、手洗いや手指消毒を徹底することです。そして、「飛沫感染」は、マスクの着用と、人と人との空間距離を取ること、さらに「マイクロ飛沫感染」は、換気をこまめに行うことなど、「新しい生活様式」をしっかりと実践することで防いでいくことが肝要となります。

そして日頃から体調管理を行い、体調が優れない時には仕事や会合を休んでいただく、体調不良の優れない方を出勤させない、参加させないことを、本人だけではなく、是非、事業所や会合の主催者にも協力していただくことが大事です。飲食店等を利用する際に、お店側から感染対策の協力を求められた場合は、どうぞ快く、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

県民経済の着実な回復に繋げていくためには今一度、新型コロナウイルスの脅威が、未だ過ぎ去っていないんだということを県民お一人お一人が、そして沖縄に旅行しようと計画されている方々が再認識していただき、そのための日頃の対策をしっかりと講じていただくことが大切です。

引き続き、皆様のご協力を、よろしくお願い申し上げます。

マジユン、チバティイチャリバナヤーサイ。一緒に頑張ってまいりましょう。